

○Web サイトにオプトアウトする書式

「 レンバチニブ+ペムブロリズマブ併用療法におけるテレフォンプォローに関するアンケート調査 」

○研究の概要と目的

2021 年に承認された「レンバチニブ+ペムブロリズマブ併用療法」は、進行・再発子宮体がんに対して高い有効性が期待される一方、副作用が多岐にわたります。当院では、患者さんの在宅での状況を把握するため、保険薬局と連携した「テレフォンプォロー (TF)」を導入しています。本研究の目的は、この TF に関するアンケート調査を行い、患者さん・薬剤師・医師の 3 者の視点から、運用上の課題や有用性を明らかにすることです。これにより、より安全で質の高い治療支援体制の構築を目指します。

○研究の方法

当院で当該治療を受け、テレフォンプォローを経験された患者さん、および対応した保険薬局薬剤師、当院産婦人科医師を対象に、無記名の自記式アンケート調査を実施します。

○研究の参加について

本研究への参加は自由意思によるものです。アンケートへの回答をもって同意とみなさせていただきます。また、情報の使用を希望されない（研究対象から除外してほしい）場合は、いつでも下記のお問い合わせ先までご連絡ください。拒否を申し出られた場合でも、診療上の不利益を受けることは一切ありません。

○調査する内容

- 患者さん： 電話相談による安心感、体調の伝えやすさ、電話の頻度や内容の満足度など
 - 保険薬局薬剤師： 情報共有シートの使いやすさ、業務負担、医師との連携実感など
 - 医師： フィードバック情報の有用性、診療への寄与度、項目の妥当性など
- ※いずれも無記名であり、個人を特定する情報は含まれません。

○実施期間

研究対象期間：令和 5 年 10 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和 9 年 3 月 31 日まで

○研究成果の発表

調査した患者さんのデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。また、個々の患者さんのデータを発表するときも、個人が特定されることはありません。

○研究代表者

国立病院機構熊本医療センター 薬剤部 橋本 崇広

○当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 薬剤部 橋本 崇広

○問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 薬剤部 橋本 崇広 電話 096-353-6501